



コミュニティーデザイナー
山崎 亮の仕事

RYO YAMAZAKI

人と人との“つながり”を広げることで活力を生み出す。

鍵を握るのはコミュニティデザインと呼ばれる新たなまちづくりの手法です。

『地方再生の救世主』として引っ張りだこの山崎氏の仕事の極意が今、明らかに。

◎これまで20の自治体を成功に導き、現在、全国から依頼が殺到している。(NHKクローズアップ現代)

◎今、行政が一番頼りにする男、全国の自治体から『地方再生の救世主』として熱い期待を寄せられています。(CASAブルータス)

平成24年 **2月18日**(土) 15:00~17:00

福井市美術館 / 3階講堂 [入場無料]

山崎 亮
【やまざき りょう】

studio-L 代表。京都造形芸術大学教授。
地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。
まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、建築やランドスケープのデザイン、
市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。
著書に『コミュニティデザイン (学芸出版社)』、
『ランドスケープデザインの歴史 (学芸出版社：編著)』
『震災のためにデザインは何が可能か (NTT 出版：共著)』
『地域を変えるデザイン (英治出版：共著)』 などがある。